

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	利用者の様々な面からのアセスメントが十分にできていない。特に心理面・生活面の把握が不足していて、介護計画に活かされているのか不安がある。	利用者を客観的に把握できたアセスメントを職員全員ができるようにする。	介護計画作成方法の見直しを行い、利用者の様々な面からのアセスメントができるように心理面や生活歴がより詳細なセンター方式を一部取り入れて、職員全員が利用者を客観的に把握・共有して介護計画作成に取り組んでいき、利用者に反映していく。	1ヶ月
2	35	災害時に向けての地域との連携が十分とはいえない。事業所として地域に貢献していることが地域に理解されているのか、今後災害発生時に地域住民とどの様な協力体制ができるのか明確にしていく必要がある。	災害発生時に備えて地域住民との連携を日常的に深め、地域との協力体制を築いていく。	日常的にあらゆる機会を捉えて(地域体操・小、中学校・幼稚園との交流や地域での催しなどへの参加の時)災害訓練への参加の呼びかけをして、参加する人によって訓練内容も検討していく。また、事業所が避難食の備蓄やAEDの設置、災害時には緊急避難の場所が可能であることなどを広報し地域の理解を得ながら地域との協力体制を築いていく。	6ヶ月～1年
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。